

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年8月14日

【四半期会計期間】 第109期第1四半期(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

【会社名】 山九株式会社

【英訳名】 SANKYU INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中村公大

【本店の所在の場所】 北九州市門司区港町6番7号
(同所は登記上の本店所在地で実際の本社業務は下記で行っております。)

【電話番号】 03(3536)3939(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 酒井宏道

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区勝どき六丁目5番23号(本社事務所)

【電話番号】 03(3536)3939(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 酒井宏道

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)
山九株式会社本社事務所
(東京都中央区勝どき六丁目5番23号)
山九株式会社北関東支店
(埼玉県白岡市篠津730番地)
山九株式会社千葉支店
(千葉県市原市白金町四丁目63番地)
山九株式会社横浜支店
(横浜市中区山下町193番地1 山下町コミュニティビル)
山九株式会社東海支店
(愛知県東海市東海町三丁目11番1号)
山九株式会社大阪鉄鋼支店
(堺市堺区松屋町一丁目6番地7)
山九株式会社神戸支店
(神戸市中央区海岸通二丁目2番3号 東和ビル)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第108期	第109期	第108期
		第1四半期 連結累計期間	第1四半期 連結累計期間	第108期
		自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高	(百万円)	125,478	127,426	510,027
経常利益	(百万円)	6,109	7,427	28,066
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(百万円)	4,126	5,178	18,208
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	2,254	4,895	20,024
純資産額	(百万円)	146,712	165,327	162,881
総資産額	(百万円)	381,110	392,798	383,448
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	13.63	17.11	60.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	37.7	41.3	41.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態および経営成績の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、総じて緩やかな拡大基調が続きました。国内経済では、内需が力強さに欠ける状態で続いているものの、世界経済の回復に伴う輸出が堅調であり、製造業の業績改善を受けた設備投資も底堅く、景気は緩やかな持ち直しを継続しております。

このような経済情勢の下、当社グループの物流事業分野では、日本および各現地法人における国際物流貨物の取扱量拡大と既存作業収益の向上施策推進、一方の機工事業分野では、製造業構内における製造基盤整備・効率化対策工事の受注拡大や設備保全作業の獲得を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,274億26百万円と前年同四半期比1.6%の増収、利益面においては営業利益が72億32百万円と14.0%、経常利益は74億27百万円と21.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益は51億78百万円と25.5%のそれぞれ増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

物流事業

港湾事業におけるコンテナ取扱量につきまして、一部航路休止影響はありましたが全体では総じて堅調に推移いたしました。国際物流事業では海外向け設備輸出関連案件や東南アジア・東アジアでの貨物取扱量が増加、また3PL事業では、前第2四半期会計期間途中より開始しました店舗向け配送業務収益の年度当初からの寄与もあり、物流事業全体では増収増益となりました。

売上高は656億88百万円と前年同四半期比4.9%の増収、セグメント利益（営業利益）は18億21百万円と前年同四半期比56.8%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は51.6%であります。

機工事業

設備工事関連では、海外での大型工事案件が端境期であり、事業全体の工事量は前年同期比で減少しました。保全作業につきましては、今年度は石油・石化構内設備のSDM（大型定期修理工事）がマイナー年ではありませんが、収入面では国内の製造業構内における製造基盤整備・効率化対策工事の受注拡大や南米での構内整備作業の増加があり、コスト面では工法改善ならびに要員の流動化・原価管理の徹底に取り組み、機工事業全体では減収ながら増益となりました。

売上高は563億56百万円と前年同四半期比0.7%の減収、セグメント利益（営業利益）は51億40百万円と前年同四半期比4.5%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は44.2%であります。

その他

SDMマイナー年による保全工事量の減少に伴い機材賃貸が減少し減収となりましたが、交通インフラの整備関連工事における施工管理強化等により増益となりました。

売上高は53億81百万円と前年同四半期比12.2%の減収、セグメント利益（営業利益）は2億54百万円と前年同四半期比14.9%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.2%であります。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,897億59百万円であり、前連結会計年度末に比べ102億75百万円と5.7%増加しました。主な要因は、作業量の増加による受取手形および売掛金、ならびに未成作業支出金の増加によるものです。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,030億38百万円であり、前連結会計年度末に比べ9億25百万円と0.5%減少しました。主な要因は、有形固定資産の償却による減少等によるものです。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,360億87百万円であり、前連結会計年度末に比べ85億83百万円と6.7%増加しました。主な要因は、賞与および納税資金等の対応によるコマース・ペーパーの増加等によるものです。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は913億82百万円であり、前連結会計年度末に比べ16億79百万円と1.8%減少しました。主な要因は、借入金の減少等によるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,653億27百万円であり、前連結会計年度末に比べ24億45百万円と1.5%増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加と為替換算調整勘定等の減少との差によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.4ポイント下回り41.3%となっております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社連結グループが対処すべき課題について、重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,000,000,000
計	1,000,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	326,078,030	326,078,030	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数は、1,000株 であります。
計	326,078,030	326,078,030		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年4月1日 ～平成29年6月30日		326,078		28,619		11,936

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成29年3月31日の株主名簿により記載をしております。

【発行済株式】

平成29年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,646,000		
	(相互保有株式) 普通株式 1,844,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 300,214,000	300,214	
単元未満株式	普通株式 2,374,030		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	326,078,030		
総株主の議決権		300,214	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄には、自己保有株式が次のとおり含まれております。
当社 393株

【自己株式等】

平成29年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 当社	北九州市門司区港町 6 - 7	21,646,000		21,646,000	6.63
(相互保有株式) 山九重機工(株)	川崎市川崎区塩浜 4 - 13 - 1	1,844,000		1,844,000	0.56
計		23,490,000		23,490,000	7.20

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が2,000株(議決権2個)あります。
なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)および第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,195	23,848
受取手形及び売掛金	135,506	140,592
有価証券	2,126	2,189
未成作業支出金	3,617	6,269
その他のたな卸資産	1,523	1,537
その他	10,603	15,409
貸倒引当金	88	88
流動資産合計	179,484	189,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	59,154	58,370
土地	59,380	59,371
その他（純額）	26,111	25,974
有形固定資産合計	144,645	143,717
無形固定資産		
のれん	6,145	5,838
その他	5,046	4,943
無形固定資産合計	11,192	10,782
投資その他の資産		
投資有価証券	24,159	24,337
その他	25,437	25,661
貸倒引当金	1,470	1,459
投資その他の資産合計	48,125	48,539
固定資産合計	203,963	203,038
資産合計	383,448	392,798

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,742	71,905
短期借入金	14,452	14,739
コマーシャル・ペーパー	-	18,000
未払法人税等	7,736	2,884
未成作業受入金	788	1,676
その他	31,784	26,882
流動負債合計	127,504	136,087
固定負債		
社債	32,000	32,000
長期借入金	16,054	14,666
退職給付に係る負債	30,053	30,118
その他	14,953	14,598
固定負債合計	93,062	91,382
負債合計	220,566	227,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,726	12,704
利益剰余金	124,120	127,167
自己株式	8,696	8,703
株主資本合計	156,770	159,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,603	5,731
繰延ヘッジ損益	79	62
土地再評価差額金	1,317	1,317
為替換算調整勘定	2,155	2,786
退職給付に係る調整累計額	916	923
その他の包括利益累計額合計	2,966	2,487
非支配株主持分	3,144	3,051
純資産合計	162,881	165,327
負債純資産合計	383,448	392,798

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	125,478	127,426
売上原価	114,212	115,275
売上総利益	11,266	12,151
販売費及び一般管理費	4,924	4,918
営業利益	6,341	7,232
営業外収益		
受取利息	89	119
受取配当金	279	351
その他	322	395
営業外収益合計	691	866
営業外費用		
支払利息	194	175
為替差損	367	164
その他	361	331
営業外費用合計	923	671
経常利益	6,109	7,427
特別利益		
社会保険料還付金	-	484
助成金収入	788	-
特別利益合計	788	484
税金等調整前四半期純利益	6,897	7,911
法人税等	2,696	2,689
四半期純利益	4,201	5,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,126	5,178

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	4,201	5,221
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	803	165
繰延ヘッジ損益	12	17
為替換算調整勘定	1,160	521
退職給付に係る調整額	5	12
その他の包括利益合計	1,946	326
四半期包括利益	2,254	4,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,357	4,699
非支配株主に係る四半期包括利益	102	196

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日至平成29年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

当社は、平成29年4月28日開催の取締役会において単元株式数の変更について決議し、また平成29年6月28日開催の第108回定時株主総会において、株式併合にかかる議案が承認可決されております。これに伴い、平成29年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株へ変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたします。

当該株式併合が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定した場合の、前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間における1株当たり情報は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	68.17円	85.57円

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 偶発債務

連結会社以外の会社の銀行借入金等に対して、次のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成29年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	
夢洲コンテナターミナル(株)	1,025百万円	夢洲コンテナターミナル(株)	1,025百万円
SSAL TRANSPORTATION COMPANY	- "	SSAL TRANSPORTATION COMPANY	289 "
従業員(住宅貸付)	173 "	従業員(住宅貸付)	167 "
小倉国際流通センター(株)	44 "	小倉国際流通センター(株)	34 "
(株)ワールド流通センター	43 "	(株)ワールド流通センター	3 "
計	1,287百万円	計	1,520百万円

小倉国際流通センター(株)への保証44百万円については、その60%を鶴丸海運(株)および山田港運倉庫(株)が保証しているため、実質の保証額は40%相当額の17百万円であります。

小倉国際流通センター(株)への保証34百万円については、その60%を鶴丸海運(株)および山田港運倉庫(株)が保証しているため、実質の保証額は40%相当額の13百万円であります。

2. 手形債権流動化に伴う買戻し義務額

前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
1,157百万円	966百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
減価償却費	3,587百万円	3,559百万円
のれんの償却額	441 "	329 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	3,349	11.00	平成28年3月31日	平成28年6月29日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,131	7.00	平成29年3月31日	平成29年6月29日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,594	56,757	119,351	6,127	125,478	-	125,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,445	1,188	2,633	1,818	4,452	4,452	-
計	64,039	57,945	121,985	7,945	129,931	4,452	125,478
セグメント利益	1,161	4,921	6,082	221	6,304	37	6,341

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額37百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,688	56,356	122,045	5,381	127,426	-	127,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,580	1,100	2,681	2,365	5,047	5,047	-
計	67,269	57,457	124,726	7,746	132,473	5,047	127,426
セグメント利益	1,821	5,140	6,962	254	7,216	15	7,232

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額15百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13.63円	17.11円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	4,126	5,178
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	4,126	5,178
普通株式の期中平均株式数(千株)	302,629	302,583

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8 月 9 日

山九株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 増 村 正 之

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒 牧 秀 樹

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉 原 一 貴

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている山九株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、山九株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。